

後援会長挨拶

令和元年

後援会創立31年を迎えて

今年度から後援会会長を仰せつかりました土屋です。

保護者並びに大学関係者の皆様には、後援会活動へのご理解、ご支援を頂き、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

この後援会の目的は、東京都市大学の教育方針に則り、大学と保護者との連携を緊密にして、子女の修学、学生生活の向上を助け、その他大学を後援して、その発展に寄与するとともに、会員相互の親睦を図ることにあります。

大学の歴史は、武蔵工業大学の前身の学校から始まり、10年前の東横学園女子短期大学との統合とともに東京都市大学へ校名変更し、総合大学のスタートを切り、今年では創立90周年を迎えています。

一方後援会は、平成元年より活動を開始し、平成を駆け抜け、令和時代の幕が開けて31年目を迎えました。

主要な活動としては、新入生研修行事の「フレッシュャーズ・キャンプ」や大学行事の体育祭・学園祭と課外活動の援助、例年9月から大学と共催で行われる「大学と保護者との連絡会」の開催等です。遠隔地から学生生活を送られている子女の保護者の皆様におかれましては、大学関係者との意見交換会の場としてご利用ください。また昨年度の学生厚生援助として、課外活動等で利用する液晶ディスプレイ・製氷機の設置や、朝活応援企画100円朝食の支援も引き続き実施しています。

産業界では、「働き方改革関連法」の施行により大きな変換期を迎え、グローバル人材の活用を図っています。大学では「海外インターンシップ」等人材育成のプログラムを取込み、改革を推進しています。

後援会としても学生の皆さんの修学・生活環境の支援に対して、令和の時代に沿った改革を図って行く必要があります。そのためにも保護者・大学関係者の皆様からご意見・ご支援を仰ぎながら、10年後の創立100周年に向かい櫂を繋いで行きたいと思っております。



東京都市大学後援会 2019年度会長 **土屋 良直**